

第227回 春風狂句

5月号の筈は

「心機一転」「勿体なか」です。

お一人三句以内で4月10日(火)までに
受付にお出してください。お待ちしております。

選者 国府 良貝



◎ よか日和 うたた寝しよる 老夫婦 矢邊 義興

(評釈) のどかで 何かほほえましかなあ。

公園で 仲良く座っていたご夫婦が どちらともなく
コックリコックリ。二人でおっと 安心でくつとだろねえ。
ついこっそり 写真とつといた。

◎ よか日和 挨拶がわりの かきねごし お米

(評釈) 今日はよか天気で 気持ちのよかね

お互いに 庭掃除しながら かきねごしのご挨拶。
掃除の終わったら おいしか饅頭のあるけん
お茶のみにおいで 近所付き合い ありがたいこと 限りなし。

◎ よか日和 ひばりどこかと 空見上げ 令志 タエ子

(評釈) よか句なあ。こん前 済生会病院の裏手の 田んぼの

所ば 犬連れて 散歩しよったら ひばりの鳴き声。
つい見上げたら さわやかな 青空と白い雲。
生きとるしあわせを感じた。やっぱ 春はよかなあ。

◎ よか日和 心も体も みな元気 杉野 裕志

(評釈) やさしか日差しに包まれて 心地よい。

春風が吹けば 言うことなし。いっせいに 花も咲きだして
なんか 命のエネルギーを感じる。 天気てよかなあ。

◎ 楽しみね 孫がご飯奢るてち 吉岡 広子

(評釈) 四月から 社会人一年生の孫。早速 初給料で ご飯ば
食べに 連れていって 言うてきた。何でんよかよと 言うけん
いっぺん くるくる 寿司に 行ってみたかて 言うていた。
あんま高かとか かわいそかもんね。

◎ 楽しみね あたげの婆ちゃん 芸達者 鳥 藤子

(評釈) 社交ダンスに フラダンス 演歌から 青春ポップス
あげくの果ては どじょうすくい。その場に応じて
出し物は 自由自在。いっどこで 覚えらしたたろか。
昔は おとなしかったてからね。よう ブラボー。

◎ 楽しみね 里にやだご汁 待つとつと 脇田 五典

(評釈) 最近な 居酒屋でん メニューに だご汁のある。
ばってん 食べてみつと 何かちがうとよね。
小さか頃 食べた あのだご汁ば 食べよごつなって 実家に帰る。
やっぱ ばあちゃんの だご汁が 一番おいしか。

たくさんの方の投稿をありがとうございます。

評釈は、勝手にイメージで

書かせていただいておりますので、

お気に召さない場合があるかもしれません。

お許しください。

